

YOCARO

〔ヨカロ〕

福祉用具サービス計画 選定理由例

1人ひとりの
“ちょうどいい”へ

- 使用環境・身体状況
- 認知症
- 高血圧
- リウマチ、握力低下
- 円背、変形
- 脳血管疾患
- 起立性低血圧
- 浮腫、むくみ
- 歯周疾患
- 摂食嚥下障害
- 褥瘡(床ずれ)

「ヨカロ」は
こんなご利用者に
ぴったり！

使用環境・身体状況

ベッドを設置する部屋の広さ

- 垂直昇降機能で省スペースでの設置ができるヨカロを選定。
- 棚が収納式で使わないときは省スペースでの設置ができるヨカロを選定。



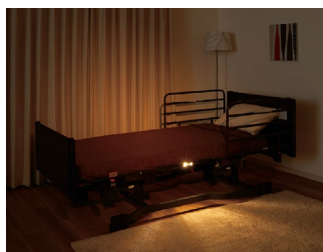
ご利用者の体格

- ショート、レギュラー、ロングサイズを選択できるヨカロを選定。
- ご利用者の体格に合わせて膝の屈曲位置が調節できるヨカロを選定。



足腰の筋力の低下

- 負担の少ない立ち上がりのために、安定した立ち上がりをサポートするニーパロを取付けできるヨカロを選定。
- 夜間の居室における事故を防ぐため、ベッドの電力で「人感センサー付フットライト」を取付けできるヨカロを選定。



車いすの使用

- すべてのサイドレールホルダーが収納できてベッドに車いすを近づけることができるヨカロを選定。
- 負担の少ない立ち上がりのために、安定した立ち上がりをサポートするニーパロを取付できるヨカロを選定。



オプション受け収納時

認知症

認知症とは？

- 認知症とは、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりしたためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態のこと。
- 認知症の直接の原因である「脳の細胞が壊れる」ことで起こる症状を「中核症状」といい、認知症の方であれば誰しもが抱える症状のことをいう。
- 一方、「周辺症状」とは「行動・心理症状」とも言われ、中核症状に本人の性格や環境の変化等が加わって起こる症状をいう。症状は人それぞれ異なり、また接する人や日時によっても大きく変わってくる。

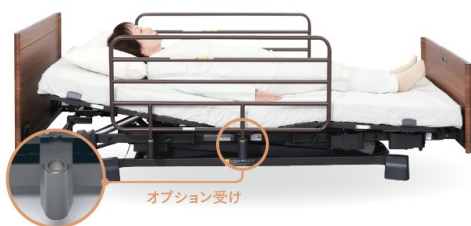


配慮すべき点

- ベッドからの転落の恐れがある。
- 手元スイッチの誤操作に注意する。



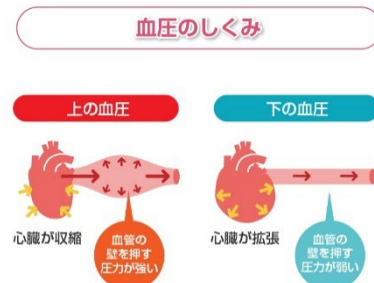
- ベッドからの転落の恐れがあるので、サイドレールやベッド用グリップが取り付けできる機種を選定。
- 手元スイッチの誤操作を防ぐため、ロック機能があるヨカロを選定。



高血圧

高血圧とは？

- 高血圧とは、安静状態での血圧が慢性的に正常値よりも高い状態をいう。
- 一般に高齢になるほど高血圧の割合が増え、70代の約70%は高血圧といわれている。
- 高血圧の状態を放置していると、動脈硬化を促進し、脳卒中や心疾患、慢性腎臓病などの重大な病気につながる恐れがある。

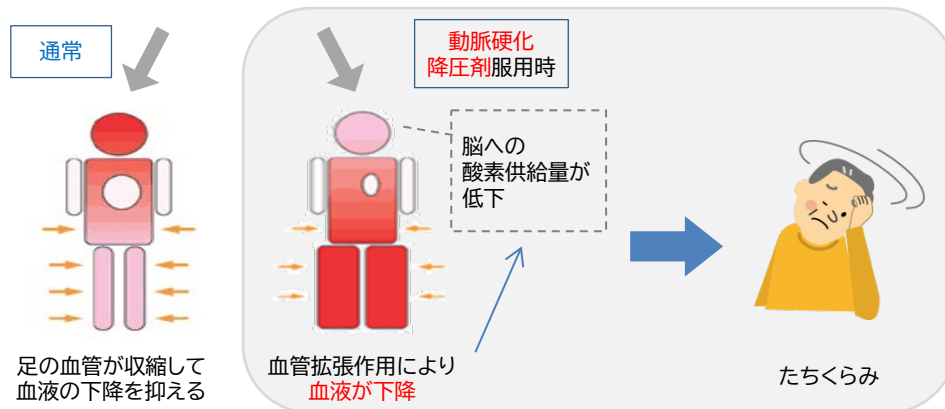


配慮すべき点

- 血圧の急激な上昇を避けるため、立ち上がりや起き上がり等の強い力を込める動作に注意する。
- 腹部の圧迫による血圧の上昇に注意する。
- 降圧剤を服用している場合は起立性低血圧に注意する。

〈 起立性低血圧のメカニズム 〉

臥位から立位になると、重力によって
胸から約700mlの血液が下肢へ流れる



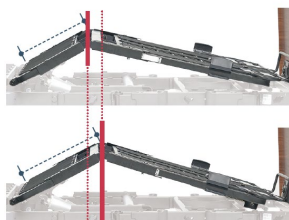
YOCARO

「ヨカロ」

選定理由

- ボトムの屈曲位置を調節でき、背上げ時の腹圧を軽減できるヨカロを選定。
- 負担の少ない立ち上がりのために、安定した立ち上がりをサポートするニーパロを取付できるヨカロを選定。

身長目安
160cm未満の方



身長目安
160cm以上の方



リウマチ

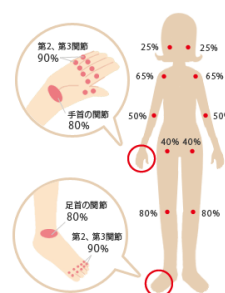
リウマチとは？

- 身体の多くの関節に炎症が起こり、関節がはれて痛む疾患。進行すると関節の変形や拘縮が起こる。
- 手足の第2関節・第3関節や、手首や足首の関節などに発症しやすい。
- 日によって、時間帯、天候や湿度によっても症状は変化する。
- 年齢別にみると30～50歳代で発症した人が多く、男性に比べ女性に起こりやすい。

〈手足のリウマチ〉



〈症状の出やすい場所〉



配慮すべき点

- リウマチは関節の動きが制限され、ものを持つことが困難になる場合がある。
- 症状が進行すると、変形が発生する場合がある。

YOCARO
ヨカロ

選定理由

- 操作のメモリー機能があり、1ボタンで指定したリクライニングができるヨカロを選定。
- 変形によりポジショニングが必要な場合は、ハイバックサポート機能でポジショニングの微調整ができるヨカロを選定。



円背・拘縮・変形

円背・拘縮・変形とは？

- 円背とは、脊椎湾曲症の一種であり、脊椎が丸まるように湾曲した状態のこと。
- 姿勢が悪い状態が習慣化したことによる湾曲、生まれつきの湾曲、脊椎の疾患や骨折による湾曲など原因は様々。
- 円背のまま放置して症状が悪化すると、椎間板ヘルニア・あごや首の変形・肩こり・腰痛など様々な症状がみられる。

配慮すべき点

- 拘縮・変形を予防するために、リハビリ等で関節を動かし、関節の可動域を維持する。
- ポジショニング(安楽な姿勢づくり)により、筋緊張の緩和や身体の歪みを改善する。



選定理由

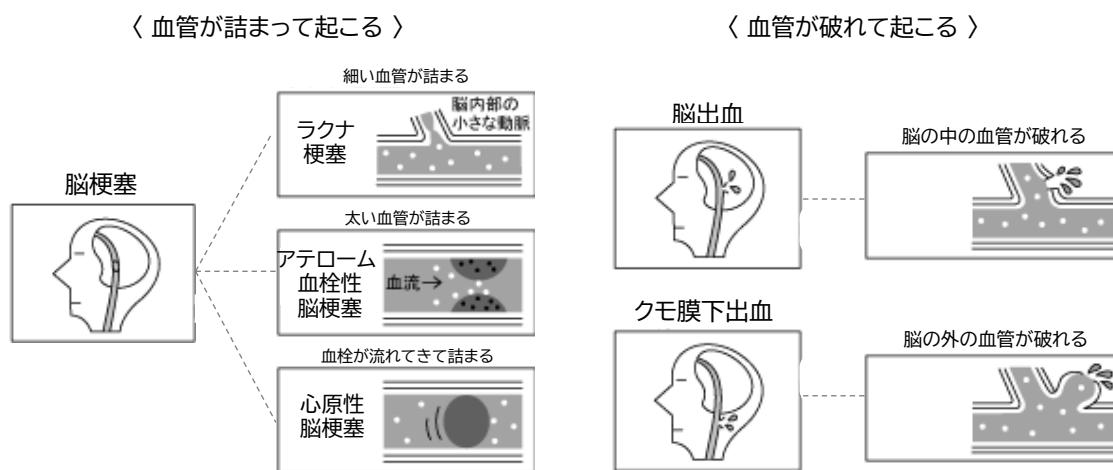
- 立つ動作でリハビリを行う場合、安定した立ち上がりをサポートするニーパロを取付できるヨカロを選定。
- ポジショニングを行う場合、ハイバックサポート機能でポジショニングの微調整ができるヨカロを選定。
- ハイバックサポートにより安楽な姿勢をつくり拘縮の進行を防ぐため、ヨカロを選定。



脳血管疾患

脳血管疾患とは？

- 脳梗塞や脳出血、クモ膜下出血などに代表される脳の病気の総称。
- 脳の血管がつまったり、破れたりして起こる。たとえ命を取り留めても、手足のマヒや言語障害、意識障害、運動障害などの後遺症が残ることが多い。
- がん、心疾患に次ぎ現在の日本人の死因順位の第3位。また、要介護・寝たきりになる原因疾患1位。



配慮すべき点

- 運動機能の麻痺による起き上がり、立ち上がり能力の低下。
- 体位変換が困難になり、褥瘡のリスクが高まる。
- 摂食嚥下障害により誤嚥性肺炎のリスクが高まる。



- 負担の少ない立ち上がりのために、安定した立ち上がりと移乗をサポートするニーパコを取付できるヨカロを選定。
- 褥瘡のリスクが高いと判断される場合は、背上げ時のズレを抑制し、体圧を分散することができるヨカロを選定。
- 摂食嚥下障害の症状がみられる場合は、ハイバックサポート機能で頭頸部の挙上角度を調節でき、誤嚥をしにくい姿勢が取りやすいヨカロを選定。

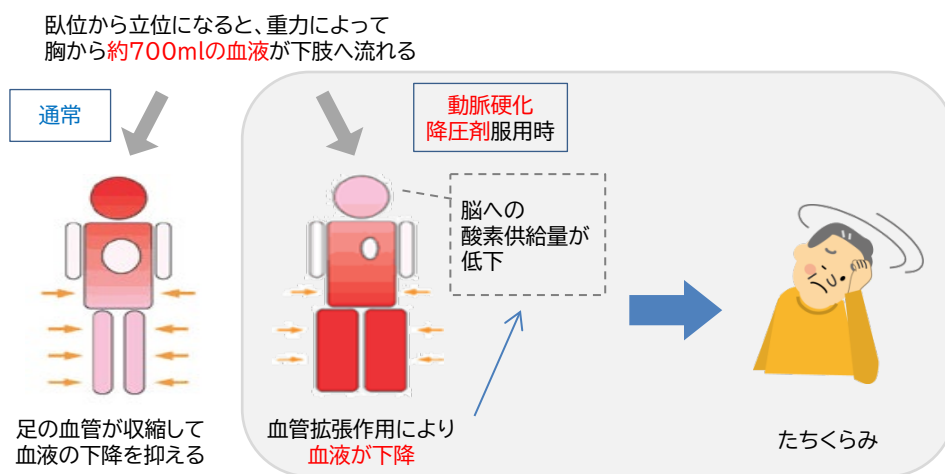


起立性低血圧

起立性低血圧とは？

- 起立性低血圧とは、横になった体勢や座った体勢の状態から、急に身体を起こした時や急に立ち上がった時などに血圧が下がり、立ちくらみ・眩暈・失神などの症状が現れるものをいう。
- 立っている状態の時に、血液が重力に従って下肢へと集まって溜まってしまい、血液が心臓へ戻れず、心臓から拍出される血液量が減って動脈圧が低下することが原因で起きる。

〈 起立性低血圧のメカニズム 〉



配慮すべき点

- 背上げ時や立ち上がり時に低血圧を発症し、バランスを崩したり心身に様々な不調が出現する。

YOCARO
ヨカロ

選定理由

- 高い角度の背上げにより低血圧の恐れがある場合、ハイバックサポート機能により頭頸部だけを挙上させることができるヨカロを選定。
- 負担の少ない立ち上がりのために、安定した立ち上がりと移乗をサポートするニーパロを取付できるヨカロを選定。



呼吸器疾患

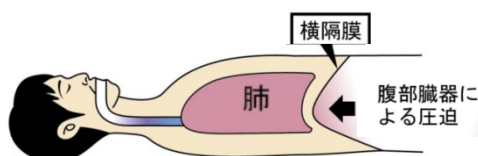
呼吸器疾患とは？

- 呼吸器（上気道、気管・気管支、肺、胸膜等）に起こる疾患の総称。代表的なものに肺炎、肺結核があり、慢性疾患では、肺気腫、慢性気管支炎、気管支喘息などがある。
- アレルギーによる喘息や病状の進行に伴い、少しの動作で呼吸困難感が発生する。

配慮すべき点

- 臓器による横隔膜への圧迫を減らし、呼吸をしやすい姿勢を取る。背圧や腹圧も呼吸を阻害する要因となる。
- 睡眠時無呼吸症候群は、就寝時の頭頸部の調節によって改善する場合がある。
- 苦しくて動けないような場合には、オーバーテーブルなどを使用して起座呼吸（きざこきゅう）を促す。

〈内臓による肺の圧迫〉



〈起座呼吸とは〉



YOCARO
ヨカロ

選定理由

- 膝位置のフィッティング機能やリクライニング機構により、背上げ時ズレによる背圧・腹圧軽減をサポートできるヨカロを選定。
- 睡眠時無呼吸症候群の場合、ハイバックサポート機能で頭頸部の挙上角度を調節できるヨカロを選定。

身長目安

160cm未満の方



身長目安

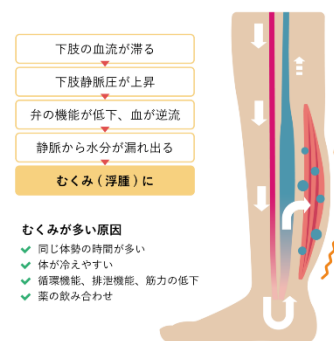
160cm以上の方



浮腫・むくみ

浮腫・むくみとは？

- 心不全や、慢性腎不全、低栄養状態などが原因で起こる。
- リンパ浮腫をそのまま放置しておくと、日常生活に支障をきたしたり、細菌感染などの合併症の危険性が高まる。
- リンパ浮腫は女性患者が全体の9割以上と圧倒的に多いのが特徴。



配慮すべき点

- 細胞組織に水分が溜まって腫れるため、血液やリンパ液の循環を改善させる必要がある。
- 浮腫が発生した皮膚は損傷を受けやすいため、傷や褥瘡のリスクが高まる。



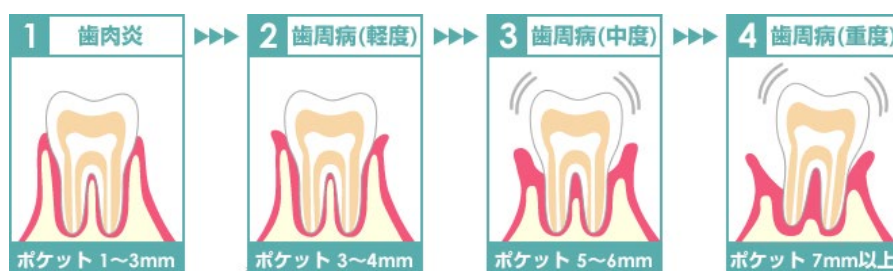
- 脚上げ機能で中枢への血液やリンパ液の流れを促すことが必要になるため、脚上げ単独動作および足先上げ機能があるヨカロを選定。
- 褥瘡のリスクが高いと判断される場合は、ハイバックサポートにより背上げ時の体圧分散効果が期待できるヨカロを選択。



歯周疾患

歯周疾患とは？

- 歯周組織にみられる疾患群の総称。炎症、潰瘍、出血、乾燥等の症状がある。
- 口腔機能が低下すると食物の種類が制限されるので、免疫力の低下から病気にかかりやすくなる。
- 食事や会話に支障をきたすと身体的にも精神的にも活動が不活発になり、高齢者では寝たきりや認知症の引き金ともなりえる。



配慮すべき点

- 嚥下機能が低下している場合の口腔ケアは、水分や汚れを誤嚥しないよう注意する。
- 口内細菌が多くなり、誤嚥性肺炎のリスクが高まる。

YOCARO
ヨカロ

選定理由

- 口腔ケアを行う際、頭頸部の角度を調節でき、また誤嚥をしにくい姿勢が取りやすいヨカロを選定。
- 睡眠中の誤嚥による肺炎を防ぐため、頭頸部の角度を調整できるヨカロを選定。



摂食嚥下障害

摂食嚥下障害とは？

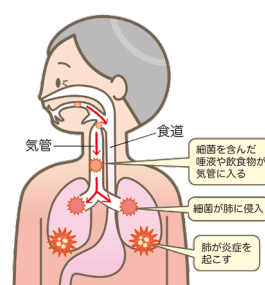
- 摂食嚥下障害とは、口から食べる機能の障害のこと。咀嚼したり飲み込んだりする動作が正しく働かない状態をいう。食事中によくむせたり、また、食事中でなくても唾液により突然むせたりせき込んだりする。
- 原因として最も多いのが脳梗塞などの脳血管障害だが、高齢者は加齢による筋力低下等により発症しやすい。
- 誤嚥性肺炎がおこりやすくなる。

誤嚥性肺炎とは

誤嚥により唾液や胃液と共に肺に流れ込んだ細菌が原因でおこる肺炎。

高齢者の肺炎の70%以上が誤嚥に関係しているといわれている。

90歳以上では死亡原因の2位にもなる。



配慮すべき点

- 飲み込みやすい姿勢を取り、誤嚥をしにくくする。
- 口腔ケアにより口内細菌を減らし、誤嚥性肺炎を予防する。口腔ケアを行う際は唾液の誤嚥にも注意する。

YOCARO
ヨカロ

選定理由

- ハイバックサポート機能で頭頸部の屈曲角度を調節でき、誤嚥をしにくい姿勢が取りやすいヨカロを選定。
- 姿勢管理のため、角度の確認がしやすい液晶付き手元スイッチのヨカロを選定。
- 食事介助や口腔ケア時、オプション受けが収納できてベッドサイドでケアがしやすいヨカロを選定。

ローバック30°



あごが上がっていて飲み込みにくい

ハイバック30° ローバック30°



あごが下がり飲み込みやすい



褥瘡（床ずれ）

褥瘡（床ずれ）とは？

- 寝たきりなどによって、体重で圧迫されている場所の血流が悪くなったり滞ることで、皮膚の一部が赤い色味をおびたり、ただれたり、傷ができてしまうこと。
- 自分で体位変換できない方は、体重で長い時間圧迫された皮膚の細胞に十分な酸素や栄養が行き渡らなくなり、これにより「褥瘡」ができる。皮膚の表面だけでなく、皮膚の中にある骨に近い組織が傷ついている場合もあるので注意が必要。

配慮すべき点

- 長時間の圧迫を避けるため、定期的な体位変換が必要。
- 背上げ時の仙骨部への圧迫とズレ力を考慮し、背上げは30度まで。
- 低栄養に注意する。
- こまめなスキンケアが必要。

患者自身に関する要因

体動能力の低下
痩せて骨が突出している
関節を動かしにくい
栄養状態の低下
むくみ
多汗、尿や便の失禁

環境やケアに関する要因

体位交換の頻度
床ずれ防止用具の使用
ベッドの背上げ
座った姿勢の維持
スキンケア
栄養補給
リハビリテーション
介護力

圧力
湿潤
栄養
自立

YOCARO
ヨカロ

選定理由

- ハイバックサポート機能により、臀部の圧を軽減しながら背上げができるヨカロを選定。
- 姿勢管理のため、角度の確認がしやすい液晶付き手元スイッチのヨカロを選定。
- ベッド上で食事をせざるを得ない場合、仙骨部の圧力を軽減しつつ頭頸部を挙上させることができる、ヨカロを選定。
- 体位変換時、ベッドが高くまで上がることで介助者の腰痛を予防するヨカロを選定。



症状・身体状況・環境	選定理由例
部屋の広さ	<ul style="list-style-type: none"> ● 垂直昇降機能で省スペースでの設置ができるヨカロを選定。 ● 棚が収納式で使わないときは省スペースでの設置ができるヨカロを選定。
体格	<ul style="list-style-type: none"> ● ショート、レギュラー、ロングサイズを選択できるヨカロを選定。 ● ご利用者の体格に合わせ膝の屈曲位置が調節できるヨカロを選定。
足腰の筋力の低下	<ul style="list-style-type: none"> ● 負担の少ない立ち上がりのために、安定した立ち上がりをサポートするニーパロを取付けできるヨカロを選定。 ● 夜間の居室における事故を防ぐため、ベッドの電力で「人感センサー付フットライト」を取付けできるヨカロを選定。
車いすの使用	<ul style="list-style-type: none"> ● すべてのサイドレールホルダーが収納できてベッドに車いすを近づけることができるヨカロを選定。 ● 負担の少ない立ち上がりのために、安定した立ち上がりをサポートするニーパロを取付できるヨカロを選定。
認知症	<ul style="list-style-type: none"> ● ベッドからの転落の恐れがあるので、サイドレールやベッド用グリップが取付けできる機種を選定。 ● 手元スイッチの誤操作を防ぐため、ロック機能があるヨカロを選定。
高血圧	<ul style="list-style-type: none"> ● ボトムの屈曲位置を調節でき、背上げ時の腹圧を軽減できるヨカロを選定。 ● 負担の少ない立ち上がりのために、安定した立ち上がりをサポートするニーパロを取付できるヨカロを選定。
リウマチ	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作のメモリー機能があり、1ボタンで指定したリクライニングができるヨカロを選定。 ● 変形によりポジショニングが必要な場合は、ハイバックサポート機能でポジショニングの微調整ができるヨカロを選定。
円背・拘縮・変形	<ul style="list-style-type: none"> ● 立つ動作でリハビリを行う場合、安定した立ち上がりをサポートするニーパロを取付できるヨカロを選定。 ● ポジショニングを行う場合、ハイバックサポート機能でポジショニングの微調整ができるヨカロを選定。 ● ハイバックサポートにより安楽な姿勢をつくり拘縮の進行を防ぐため、ヨカロを選定。
脳血管疾患	<ul style="list-style-type: none"> ● 負担の少ない立ち上がりのために、安定した立ち上がりと移乗をサポートするニーパロを取付できるヨカロを選定。 ● 褥瘡のリスクが高いと判断される場合は、背上げ時のズレを抑制し、体圧を分散することができるヨカロを選定。 ● 摂食嚥下障害の症状がみられる場合は、ハイバックサポート機能で頭頸部の拳上角度を調節でき、誤嚥をしにくい姿勢が取りやすいヨカロを選定。

症状・身体状況・環境	選定理由例
起立性低血圧	<ul style="list-style-type: none"> ● 高い角度の背上げにより低血圧の恐れがある場合、ハイバックサポート機能により頭頸部だけを挙上させることができるヨカロを選定。 ● 負担の少ない立ち上がりのために、安定した立ち上がりと移乗をサポートするニーパロを取付できるヨカロを選定。
呼吸器疾患	<ul style="list-style-type: none"> ● 膝位置のフィッティング機能やリクライニング機構により、背上げ時ズレによる背圧・腹圧軽減をサポートできるヨカロを選定。 ● 睡眠時無呼吸症候群の場合、ハイバックサポート機能で頭頸部の挙上角度を調節できるヨカロを選定。
浮腫・むくみ	<ul style="list-style-type: none"> ● 脚上げ機能で中枢への血液やリンパ液の流れを促すことが必要になるため、脚上げ単独動作および足先上げ機能があるヨカロを選定。 ● 褥瘡のリスクが高いと判断される場合は、ハイバックサポートにより背上げ時の体圧分散効果が期待できるヨカロを選択。
歯周疾患	<ul style="list-style-type: none"> ● 口腔ケアを行う際、頭頸部の角度を調節でき、また誤嚥をしにくい姿勢が取りやすいヨカロを選定。 ● 睡眠中の誤嚥による肺炎を防ぐため、頭頸部の角度を調整できるヨカロを選定。
摂食嚥下障害	<ul style="list-style-type: none"> ● ハイバックサポート機能で頭頸部の屈曲角度を調節でき、誤嚥をしにくい姿勢が取りやすいヨカロを選定。 ● 姿勢管理のため、角度の確認がしやすい液晶付き手元スイッチのヨカロを選定。 ● 食事介助や口腔ケア時、オプション受けが収納できてベッドサイドでケアがしやすいヨカロを選定。
褥瘡(床ずれ)	<ul style="list-style-type: none"> ● ハイバックサポート機能により、臀部の圧を軽減しながら背上げができるヨカロを選定。 ● 姿勢管理のため、角度の確認がしやすい液晶付き手元スイッチのヨカロを選定。 ● ベッド上で食事をせざるを得ない場合、仙骨部の圧力を軽減しつつ頭頸部を挙上させることができる、ヨカロを選定。 ● 体位変換時、ベッドが高くまで上がることで介助者の腰痛を予防するヨカロを選定。





YOCARO

「ヨカロ」

在宅介護用ベッド 「ヨカロ」のご紹介

軽度の方から重度の方まで様々な使い方「ハイバックサポート機能」

従来のベッド



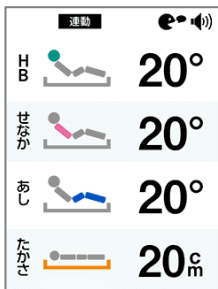
ヨカロ



背ボトムを上下2分割し、あまたは単独で0°~30°まで調整できます。

- ✓ 身体に沿った快適な背上げ
- ✓ テレビが見やすい
- ✓ ずり落ちてしまう枕代わりに
- ✓ 飲み込みやすく、むせにくい
- ✓ 圧を分散させ床ずれ予防に

見やすく使いやすい手元スイッチ



- ✓ 大きくて見やすい液晶パネル
- ✓ 角度・高さを一覧表示、操作中はその角度や高さを大きく表示します
- ✓ 動作毎にロックでき、誤操作を防止
- ✓ 操作結果を音声で読み上げ

はじめて使う介護ベッドで不安なご家族に



組立部品ゼロの構造で、
組み立て時間を短縮。
納品がスムーズで、ご家族
の手間を取らせません。



サイドレールの中央差して、
閉塞感なく転落予防